

2026 年度

東京都立大学
大学院
システムデザイン研究科
システムデザイン専攻

学生募集要項
(博士前期課程)

〈夏季入試・冬季入試〉

- ・ 一般選抜
- ・ 社会人特別選抜
- ・ 国費外国人留学生特別選抜



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

東京都立大学

夏季入試と冬季入試とでは、手続等が
異なっているので、よく確認の上、出願すること。

大学院システムデザイン研究科 アドミッション・ポリシー (抜粋)

世界は大きく変わりつつあります。ものづくりや様々なサービスに関わる世界中の企業・組織そして機械までもがインターネットや衛星通信で結ばれ、人工知能を駆使して個人の嗜好を反映した今までにない価値が生み出され、生産性や利便性の大幅な向上が図られています。大学院システムデザイン研究科では、このような産業構造のダイナミックな変化に対応するために、従来の工学において普遍的に必要とされる要素技術の分析・解析能力に加え、工学に基づく製品やサービス全体をシステムとして捉え、機能と感性の融和を重視した総合的で分野横断的なシステム設計・開発能力を有する国際感覚をもった研究者・技術者を育成します。本研究科の5つの学域は、相互連携を重視しながら、専門分野の高度な知識と応用力・創造力、そしてそれらを基礎として涵養される問題発見・解決力を付与すべく研究教育を行っています。この教育目的に沿って自己研鑽し、最先端の研究開発・デザインに情熱を持って取り組むことのできる人を求めます。

情報科学域

1 理念

情報科学域では、現代の高度情報化社会を支える情報科学の諸技術を幅広く修得することを通して、情報科学に関する深い知識と広い視野を備え、国際的に通用するコミュニケーション力を持つと共に、絶えざる技術革新が進む情報技術に対応できる人材の育成を目指しています。

2 求める学生像

- (1) 先進的な情報科学分野の知識・技術に幅広く興味を持っている人
- (2) 情報処理技術、情報通信技術、それらの基盤となるシステム技術における新しい創造に対して主体的に取り組む意欲を持っている人
- (3) 情報技術の基礎理論系、アーキテクチャ系、コンテンツ系に関する専門的基礎知識をしっかりと身につけている人

3 入学者に求める能力

- (1) 情報科学に関する基礎的な学力・技術と情報科学全般に関する幅広い知識
- (2) 自らが主体的に問題を発見し、課題を解決する能力
- (3) 国際的な視野から情報科学の研究や技術開発を進めるために必要な語学力

電気電子工学域

1 理念

電気電子工学分野の高度な専門教育と課題研究を通して、電気電子工学に関する総合的知識の基盤を形成し、課題解決や課題発見能力、高い倫理観・使命感を兼ね備えた創造的な技術者並びに研究者の育成を行っていきます。

2 求める学生像

電気電子工学域では、電気電子工学に関する先駆的な研究を通して人材育成を行うことを目指しており、以下のような学生を求めます。

- (1) 電気電子工学を基盤とした幅広い分野に興味を持っている人
- (2) 電気電子工学における高度な専門知識の修得と新たな知の創造に対して主体的に取り組む意欲を持っている人

3 入学者に求める能力

- (1) 電気電子工学に関する専門的知識並びに専門分野を超えた幅広い分野の知識
- (2) 多様な視点から研究課題を捉え、系統的に分析し、主体的に研究課題を解決する意欲
- (3) 倫理観・使命感を持って研究に取り組み、技術開発を通して社会や環境へ貢献する意欲

機械システム工学域

1 理念

機械システム工学域では、都市生活における人間の安全性と快適性及び地球環境や社会の持続可能性に配慮した先進の機械システム工学の教育を基盤とし、学際分野、未開拓分野にも対応可能な創造性や応用展開力を有する技術者・研究者を育成することを目的としています。

2 求める学生像

機械システム工学に関する先駆的な研究を通して人材育成を行うことを目指しており、次のような学生

を求めます。

- (1)機械制御・メカトロニクス、サービス情報・ロボット工学等の知能機械システムの研究分野を探求したい人
- (2)ナノマイクロ等の機械創成の研究分野を探求したい人
- (3)再生医工学・医用生体工学・生体材料、人間工学・福祉工学等の生体機械システムの研究分野を探求したい人
- (4)上記の専門分野を習得するために必要な基礎学力を十分に有する人

3 入学者に求める能力

- (1)志望分野に関する専門的知識
- (2)機械システム工学全般にわたる基礎学力
- (3)志望分野において（分野を横断して）自らが主体的に問題を発見し、課題を解決する能力

航空宇宙システム工学域

1 理念

最先端の総合工学の結晶である航空機、ロケット及び人工衛星等の航空宇宙システムは、今日では移動手段・情報通信・気象予報等、現代社会を支える基盤技術となっています。航空宇宙システム工学域では、航空宇宙分野はもとより次世代科学技術の発展を担うことができるような应用能力に富み、広い視野を持った優れた技術者・研究者を育成することを目的としています。

2 求める学生像

航空宇宙システム工学域では、総合工学としての航空宇宙工学である航空機、ロケット、人工衛星等の航空宇宙機の空気力学、推進工学、構造・材料工学、誘導制御工学に関する要素技術やシステム技術、更にはその開発手法や宇宙利用に関する研究を行っており、次のような学生を求めます。

- (1)先進的な航空宇宙工学を習得するに十分な学部相当の基礎学力を有する人
- (2)自然科学に関する論理的な思考力・表現力を有する人
- (3)多様な考えを持つ人たちと主体的に協働する力を有する人

3 入学者に求める能力

- (1)航空宇宙工学を学ぶ上で必須の流体力学、熱力学、材料力学、制御工学等に関する十分な知識・学力
- (2)工学全般にわたって積極的に学修する好奇心
- (3)志望分野においても、分野を横断する幅広い視野から自らが主体的に問題を発見し、課題を解決する能力

インダストリアルアート学域

1 理念

社会の価値観の変化や技術革新の進展が著しい現代では、さまざまな事象に迅速に対応し、時代を先導できる柔軟で革新的な発想力を持ったクリエイターが強く望まれています。そのため、インダストリアルアート学域では、国際的視野を持ち、最新のアプローチによるデザインを創造・研究・実践するデザイナー、エンジニアを育成することを目的としています。

2 求める学生像

- (1)プロダクトデザイン、メディアアートの分野に関わる世界の先端的課題に創造的に挑もうとする人
- (2)人間・環境・もの・情報・システムに関わる意味や感覚に鋭敏に感応し、それらに新しい形を与える洞察力や総合力を培い高め磨くことに真摯である人
- (3)上記の意欲や姿勢を实らせるための専門的基礎力量を備えている人

3 入学者に求める能力

- (1)志望分野に関する専門的知識
- (2)デザイン学全般にわたる広い知識
- (3)志望分野において自らが主体的に問題を発見し、課題を解決する能力

※アドミッション・ポリシーの全文は本学ホームページにてご確認ください。

URL (https://www.tmu.ac.jp/entrance/graduate/admission_policy/sd.html)

目次

1	本文	1
2	特記事項（一般選抜）	14
3	特記事項（社会人特別選抜）	19
4	特記事項（国費外国人留学生特別選抜）	21
5	博士前期課程の概要	22
6	指導予定教員一覧	26
7	出願書類様式	31
8	連絡及び問い合わせ先	巻末

【本文】

本項に加え、選抜区分ごとの特記事項を P. 14 以降に記載しているため、志願する選抜区分の特記事項も必ず確認してください。

1 募集学域及び募集人員

学 域 名 Department	募集人員					
	〈夏季入試〉			〈冬季入試〉		
	一般選抜	社会人 特別選抜	国費外国 人留学生 特別選抜	一般選抜	社会人 特別選抜	国費外国 人留学生 特別選抜
情報科学域 Department of Computer Science (CS)	63名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
電気電子工学域 Department of Electrical and Electronic Engineering (EEE)	32名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
機械システム工学域 Department of Mechanical Systems Engineering	65名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
航空宇宙システム工学域 Department of Aeronautics and Astronautics	30名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
インダストリアルアート 学域 Department of Industrial Art	25名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名

(注1) 各学域の領域/分野、研究内容及び指導予定教員は、本要項 (P. 26~30) に記載されています。
志願者は、出願する前に必ず希望指導教員と連絡を取ってください。
なお電気電子工学域以外の志願者は、受験承諾書が必要です。(P. 6 「5 出願書類」参照)

(注2) 航空宇宙システム工学域及びインダストリアルアート学域では、一般選抜の冬季入試を行わないことがあります。実施をしない場合は、2025年11月上旬にシステムデザイン研究科ホームページ (<https://www.sd.tmu.ac.jp/>) において公表します。

(注3) 国費外国人留学生 (日本政府 (文部科学省) 奨学金留学生) は、国費外国人留学生特別選抜に出願してください。その他の選抜区分を併願することはできません。また、その他の外国人留学生は、一般選抜に出願してください。

2 出願資格

(1) 出願資格

次のいずれかに該当する者（大学とは、学校教育法第 83 条の規定によるものをいう。）

ただし、選抜区分により該当する出願資格が異なるので、P. 14 以降の選抜区分ごとの特記事項も必ず確認すること。

また、⑥、⑨又は⑩に該当する者は、「(2) 出願資格認定審査」を必ず参照すること。

- ① 大学を卒業した者又は 2026 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
(ただし、2026 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者で、同月末での在学年数が 4 年に満たないものの出願は、冬季入試においてのみ認めます。)
- ② 学校教育法第 104 条第 7 項の規定（大学改革支援・学位授与機構）により学士の学位を授与された者又は 2026 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者又は 2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は 2026 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は修了見込みの者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号参照）
- ⑨ 2026 年 3 月末の時点で大学に 3 年以上在学し、本研究科が特に成績優秀と認めた者
(⑨による出願は、一般選抜（冬季入試）においてのみ認めます。出願を希望する者は、出願資格認定審査申請((2)-2 参照)を行う前に、日野キャンパス管理部学務課教務係入試担当に問い合わせてください。)
- ⑩ 本研究科において、個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22 歳（2026 年 4 月 1 日現在）に達した者

(2) 出願資格認定審査

上記(1)⑥、⑨又は⑩によって出願する者は、出願書類を提出する前に出願資格認定審査を行いますので、下記により申請書類を日野キャンパス管理部学務課教務係入試担当に簡易書留にて郵送してください（送付先住所は巻末を参照）。ただし、国費外国人留学生は出願資格認定審査を免除

します。

なお、日本語又は英語以外の書類には、訳文（日本語又は英語）を添付してください。

また、出願資格認定審査申請時に成績証明書等を提出した場合、内容に追加等がない場合は、出願時に別途成績証明書等を提出する必要はありません。

※出願資格認定審査を行った場合でも、受験するためには出願受付期間中に**出願書類を提出する必要があります。**

※出願資格認定審査について不明な点がある場合は、日野キャンパス管理部学務課教務係入試担当に相談してください。

(2)-1<出願資格(1)⑥、⑩による出願>

ア 申請書類

No.	提出書類等	注意事項
1	出願資格認定審査申請書【P. 31】	本募集要項所定の様式にて提出してください。
2	最終学歴卒業証明書（原本）	出身大学等の学長又は学部長が作成したもの。（高等専門学校の場合は、本科・専攻科両方のものを提出）
3	最終学歴成績証明書（原本）	出身大学等の学長又は学部長が作成したもの。（高等専門学校の場合は、本科・専攻科両方のものを提出）
4	研究業績書【P. 41】	本募集要項所定の様式にて提出してください。
5	返信用封筒（1枚）	<ul style="list-style-type: none">・長形3号封筒に、別紙「①返信用封筒貼付用宛名ラベル」をカラー印刷したものを貼付して提出してください。モノクロ印刷の場合には、「速達」の文字と線を赤ペン等でなぞってください。・住所、建物名、部屋番号は正確に記入してください。宛名不完全や切手の料金不足で大学へ返送された場合は、改めて宛名ラベルをご提出いただく場合がございます。その場合は、結果通知が遅くなる可能性がございますので、ご注意ください。・郵送途中で剥がれないよう、紙の全面に糊付けをしてください。 ア 出願資格認定審査結果通知用封筒 郵便切手 410 円分(110 円+速達料金 300 円 ※郵便料金が改定された場合は、改定後の金額)を貼ってください。

※日本国外に在住する者は、日野キャンパス管理部学務課入試担当に問い合わせてください。

イ 受付期間（簡易書留により郵送すること。その他の提出方法は認めません。）

<夏季入試>2025年5月26日（月）必着

<冬季入試>2025年11月7日（金）必着

封筒余白に「出願資格認定審査申請」と朱書きしてください。

なお、郵便事情による遅配及び未着の責は負えませんので、了承願います。

ウ 認定結果の通知

認定結果の通知が、出願受付期間初日の1週間前を過ぎても届かない場合には、日野キャンパス管理部学務課教務係入試担当に問い合わせてください。

(2)-2<出願資格(1)⑨による出願（冬季入試のみ）>

ア 申請書類

No.	提出書類等	注意事項
1	出願資格認定審査申請書【P. 31】	本募集要項所定の様式にて提出してください。
2	出願資格(1)⑨による出願希望調書【P. 32】	本募集要項所定の様式にて提出してください。
3	出身大学成績証明書（原本）	出身大学等の学長又は学部長が作成したもの。
4	卒業に必要な単位数や科目配当年次が確認できる書類	履修概要、シラバス（授業要目）等該当する箇所の写し。既卒者は卒業証明書でも可
5	返信用封筒（1枚）	<ul style="list-style-type: none">・長形3号封筒に、別紙「①返信用封筒貼付用宛名ラベル」をカラー印刷したものを貼付して提出してください。モノクロ印刷の場合には、「速達」の文字と線を赤ペン等でなぞってください。・住所、建物名、部屋番号は正確に記入してください。宛名不完全や切手の料金不足で大学へ返送された場合は、改めて宛名ラベルをご提出いただく場合がございます。その場合は、結果通知が遅くなる可能性がございますので、ご注意ください。・郵送途中で剥がれないよう、紙の全面に糊付けをしてください。 ア 出願資格認定審査結果通知用封筒 郵便切手410円分(110円+速達料金300円) ※郵便料金が改定された場合は、改定後の金額を貼ってください。

イ 受付期間（簡易書留により郵送すること。その他の提出方法は認めません。）

2025年11月7日（金）必着

封筒余白に「出願資格認定審査申請」と朱書きしてください。

なお、郵便事情による遅配及び未着の責は負えませんので、了承願います。

ウ 認定結果の通知

認定結果の通知が、出願受付期間初日の1週間前を過ぎても届かない場合には、日野キャンパス管理部学務課教務係入試担当に問い合わせてください。

(3) 受験上及び修学上特別な配慮を希望する者の出願について

身体障がい等で受験上及び修学上特別な配慮を希望する者は、事前に下記要領で申し出てください。本研究科所定様式はシステムデザイン研究科ホームページからダウンロードしてください。

ア 申請受付期間

<夏季入試>2025年4月30日（水）～5月9日（金）

<冬季入試>2025年10月20日（月）～10月24日（金）

イ 提出書類

・大学院システムデザイン研究科入学試験にかかる協議申込書（本研究科所定様式）

ウ 提出方法

日野キャンパス管理部学務課教務係入試担当（admission-sd@jmj.tmu.ac.jp）へ電子メールで

提出してください。

3 筆記試験等免除制度

一般選抜又は国費外国人留学生特別選抜に志願する者について、学業成績が優秀で、志望する学域における勉学に高い意欲を持ち、なおかつ合格した場合には必ず入学することを確約できる者に対しては、審査の上、筆記試験等を免除する場合があります。希望者は、下記により申請書類を日野キャンパス管理部学務課教務係入試担当に簡易書留にて郵送してください（送付先住所は巻末を参照）。

(1) 申請書類

No.	提出書類等	注意事項
1	筆記試験等免除希望調書【P. 33】	本募集要項所定の様式にて提出してください。
2	成績証明書（原本）	出身大学等の学長又は学部長が作成したもの。（高等専門学校の場合は、本科・専攻科両方のものを提出）
3	卒業に必要な単位数が確認できる書類	シラバス（授業要目）等該当する箇所の写し。（システムデザイン学部生は提出不要） 既卒者は卒業証明書でも可
4	返信用封筒（1枚）	<ul style="list-style-type: none"> ・長形3号封筒に、別紙「①返信用封筒貼付宛名ラベル」をカラー印刷したものを貼付して提出してください。モノクロ印刷の場合には、「速達」の文字と線を赤ペン等でなぞってください。 ・住所、建物名、部屋番号は正確に記入してください。宛名不完全や切手の料金不足で大学へ返送された場合は、改めて宛名ラベルをご提出いただく場合がございます。その場合は、結果通知が遅くなる可能性がございますので、ご注意ください。 ・郵送途中で剥がれないよう、紙の全面に糊付けをしてください。 ア 筆記試験等免除結果通知用封筒 郵便切手 410円分(110円+速達料金 300円) ※郵便料金が改定された場合は、改定後の金額を貼ってください。

(2) 申請期限及び審査結果通知日

<夏季入試>

申請回	申請期限	審査結果通知日（注）
第1回締切	2025年5月1日（木） →	5月21日（水）以降に審査結果を発送
第2回締切	2025年5月26日（月） →	6月6日（金）以降に審査結果を発送
第3回締切	2025年6月18日（水） →	7月下旬に審査結果を発送 （受験票送付時に同封）

<冬季入試>

	申請期限	審査結果通知日
締切	2025年12月5日（金） →	1月上旬に審査結果を発送 （受験票送付時に同封）

(3) 注意事項

- ・筆記試験等免除申請を行う場合は、申請前に必ず希望指導教員に連絡を取ってください。
- ・夏季入試の1回目と2回目の申請書類は、簡易書留にて郵送してください（各回の申請期限までに郵送必着）。封筒余白に「筆記試験等免除申請（〇〇学域志望）」と朱書きしてください。審査結果の交付は、提出のあった返信用封筒を用い、全て郵送で行います。

- ・到着状況の照会には応じません。郵送状況を追跡できるサービスをご利用ください。
- ・夏季入試の3回目と冬季入試の申請書類は、出願書類に合わせて提出してください。
また、その場合、審査結果を受験票と合わせ発送するため、返信用封筒の提出は不要です。
- ・筆記試験等免除申請を行った場合でも、受験するためには出願受付期間中に出願書類を提出する必要があります。
- ・筆記試験等を免除されなかった場合は、通常の筆記試験等を受験することになり、出願時には外部英語検定試験のスコアの提出が必要となります。
- ・夏季入試の3回目の申請と冬季入試の申請は、筆記試験免除申請と出願が同時のため、筆記試験免除を申請する場合にも、出願時に外部英語検定試験のスコア並びに受験承諾書を提出してください。
- ・筆記試験等免除申請時に成績証明書を提出した場合で、内容に追加等がない場合は、出願時に別途成績証明書を提出する必要はありません。

4 出願期間及び方法

出願書類を下記により、日野キャンパス管理部学務課教務係入試担当に郵送してください（送付先住所は巻末を参照）。

〈夏季入試〉2025年6月16日（月）から6月18日（水）まで（6月18日必着）

〈冬季入試〉2025年12月4日（木）及び12月5日（金）（12月5日必着）

- ※ それぞれの出願期間の始期（6月16日又は12月4日）より前に到着した場合も受け付けます。
- ※ 出願書類等は、必ず「簡易書留」及び「速達」扱いにして郵送してください。その他の提出方法は認めません。なお、海外からの出願は、日本国内の代理人から郵送してください（代理人がいかにしても見つからない場合は、必ず事前に日野キャンパス管理部学務課教務係入試担当へご連絡ください）。また、到着状況の照会には応じません。郵送状況を追跡できるサービスをご利用ください。
- ※ 出願書類等は、市販の角形2号封筒の表と裏に、別紙「封筒貼付用宛名ラベル」をカラー印刷したものを貼付して郵送してください。モノクロ印刷でも受付可能ですが、その場合には、「簡易書留」「速達」の文字と線を赤ペン等でなぞってください。なお、裏側の用紙にはチェック欄がありますので、送付前の最終確認の際にご利用ください。また、該当する出願書類を以下番号順に揃えて封入してください。
- ※ 受験票が試験日の1週間前になっても到着しない場合は、日野キャンパス管理部学務課教務係入試担当に問い合わせてください。

5 出願書類

書類全般に係る注意事項

- ・出願前に必ず希望指導教員へ連絡を取ってください。
- ・書類に不備がある場合は不受理となります。記入漏れ、提出漏れが無いようによく確認してください。
- ・本募集要項所定の様式の印刷には**A4判の用紙**を使用し、全て**片面印刷**としてください。文書のレイアウトを崩さないこと（レイアウトが崩れている場合は再提出となることがあります。）。
- ・PCでの入力が可能です（署名は自筆で行うこと）。
- ・手書きの場合は、耐水性の黒ボールペンを使用し、鉛筆やシャープペンシルやフリクションペン等の消せる筆記具は使用しないでください。

- ・日本語又は英語以外の出願書類には、訳文（日本語又は英語）を添付してください。翻訳者の氏名及び連絡先を明記してください。翻訳は本人が行っても構いません。ただし、卒業論文及び研究論文等は表題のみ日本語訳を添付してください。
- ・提出された出願書類はいかなる事情があっても返却しません。

No.	出願書類等	注意事項	該当者		
			一般	社会人	国費
1	志願票・履歴書 【様式1】	<ul style="list-style-type: none"> ・選抜区分ごとに様式が異なるので注意してください。 ア 一般選抜・国費外国人留学生特別選抜【P. 34・35】 イ 社会人特別選抜【P. 36】 ・志望領域/分野名及び希望指導教員名を必ず記入してください。 	○	○	○
2	写真票 【様式2】	<ul style="list-style-type: none"> ・本募集要項所定の様式にて提出してください。3ヶ月以内撮影の上半身、脱帽の写真（縦4cm×横3cm）を貼付してください。 	○	○	○
3	受験票 【様式2】	<ul style="list-style-type: none"> ・本募集要項所定の様式にて提出してください。 	○	○	○
4	入学考査料証明書添付用紙 【様式2】	<ul style="list-style-type: none"> ・本募集要項所定の様式に貼付し、提出してください。詳細は「6 入学考査料の支払いについて」(P. 9)を参照してください。事由により免除となる場合は、様式の該当欄にチェックを入れてください。 	○	○	○
5	連絡用宛名用紙 【様式2】	<ul style="list-style-type: none"> ・本募集要項所定の様式に送付先の郵便番号、住所、氏名を記入してください。合格者への入学手続案内送付（2026年1月以降）の際に使用します。出願後に住所の変更があった場合は、速やかに日野キャンパス学務課入試担当に届け出るとともに、郵便局で郵便物転送のための手続を行ってください。（氏名記入欄の「様」を消さないこと。） 	○	○	○
6	受験承諾書 （電気電子工学域以外） 【様式3】	<ul style="list-style-type: none"> ・志願票に記入した第一希望の希望指導教員が署名したもの（スキャンしたものでも可）。ただし、筆記試験等免除者は、提出を免除します（夏季入試の3回目及び冬季入試の免除者を除く）。なお、第二希望の希望指導教員の受験承諾書は不要です。 	○	○	○
7	教員に連絡を取ったことを示すもの（電気電子工学域のみ）	<ul style="list-style-type: none"> ・志願票に記入した第一希望の希望指導教員に連絡を取ったことを示すもの（教員からの返信メールをプリントしたものなどでも可）。ただし、筆記試験等免除者は、提出を免除します（夏季入試の3回目及び冬季入試の免除者を除く）。なお、第二希望の希望指導教員に連絡を取ったことを示すものは不要です。 	○	○	○
8	研究計画書 【様式4】	<ul style="list-style-type: none"> ・入学後の研究計画（研究テーマ等）を、本募集要項所定の様式に1枚程度で記入してください。 	○	○	○
9	成績証明書 （*注）	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学等の学長又は学部長が作成したもの。（原本） （高等専門学校の場合は、本科・専攻科両方のものを提出） ※出願資格認定者及び筆記試験免除者は提出を免除します。 	○	○	○
10	卒業証明書等 （*注）	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学等の学部の卒業（見込）証明書又は学位授与（見込）証明書（原本）（高等専門学校の場合は、本科・専攻科両方のものを提出） 	○	○	○
11	卒業研究の概要 （インダストリアルアート学域以外） 【様式5】	<ul style="list-style-type: none"> ・一般選抜又は国費外国人留学生特別選抜に志願する者のうち、既卒者で卒業論文や卒業制作がある場合は、その概要を本募集要項所定の様式1枚程度にまとめてください（卒業見込みの者は提出する必要はありません）。 	○		○

12	卒業論文／卒業制作及び研究論文(インダストリアルアート学域以外)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人特別選抜に志願する者のうち、卒業論文／卒業制作及び研究論文を有する者のみ提出してください。ただし卒業制作は写真等の形態で結構です。 		○	
13	ポートフォリオ又は論文(インダストリアルアート学域のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・インダストリアルアート学域に志願する者は必ず、これまでの勉学の成果を示すポートフォリオ又は論文を提出してください。卒業論文又は卒業研究の概要をポートフォリオの中にも含めても結構です。 ・ポートフォリオが指定の封筒に入らない場合は、出願期間中に別の封筒にて郵送する(封筒に「ポートフォリオ在中」と朱書きすること)か、日野キャンパス学務課窓口を持ち込んでください。ただし、ポートフォリオ以外の出願書類は、必ず本学所定の封筒又は角形2号の封筒で郵送し、ポートフォリオは別に送る旨のメモを同封してください。 	○	○	○
14	外部英語検定試験のスコアシート(原本及び写しまたはデジタル公式認定証)	<ul style="list-style-type: none"> ・一般選抜又は国費外国人留学生特別選抜に志願する者は、学域ごとに定める外部英語検定試験のスコアを提出すること。(試験当日に筆記試験は行いません。) ・必ず「7 英語筆記試験に係るスコア提出方法について」(P. 10)を読み、所定の手続をとること。 ・筆記試験等免除者は外部英語検定試験のスコアシートの提出は不要です。 	○		○
15	研究業績書【様式6】	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人特別選抜に志願する者のみ提出してください。 ・本募集要項所定の様式にて提出してください。 		○	
16	業務経歴書【様式7】	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人特別選抜に志願する者のみ提出してください。 ・本募集要項所定の様式にて提出してください。 		○	
17	推薦書【様式8】	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人特別選抜に志願する者のみ提出してください。 ・本募集要項所定の様式にて提出してください。 ・企業等の所属長が作成し、厳封したものに限り。ただし、個人事業主については、出身大学の指導教員又は本人をよく知る者が作成した推薦書に代えます。 		○	
18	指導教員等に関する調査票	<ul style="list-style-type: none"> ・電気電子工学域(一般選抜)又は機械システム工学域(一般選抜)に志願する者は、調査票を必ず提出してください。 ・※機械システム工学域に志願する者は、希望指導教員から調査票を受け取ってください。 ・※筆記試験免除者は提出を免除します。 	○		
19	研究上の技術情報に関する誓約書【様式9】	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人の方のみ 日本語版・英語版のどちらか一方を提出してください。 	○	○	○
20	国費外国人留学生の証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・国費外国人留学生特別選抜に志願する者のみ提出してください。 ア 日本国内在住の志願者 研究生等として所属する大学(学部等)が作成したものを提出してください。 ※東京都立大学研究生等は、提出不要です。 イ 日本国外在住の志願者 大使館推薦の国費外国人留学生は、日本政府(文部科学省)が作成した採用通知書の写しを提出してください。採用候補者は、事前に日野キャンパス管理部学務課教務係入試担当に問い合わせてください。 ※大学推薦の国費外国人留学生は、提出不要です。 			○

21	住民票記載事項 証明書	・外国人の方のみ市区町村長発行の「住民票記載事項証明書」を提出してください。なお、個人番号の記載は不要です（外国人登録をしていない場合は、身分を公的に証明できるもの（パスポート等）の写しを提出してください。）。	○	○	○
22	留学ビザ取得・ 更新サポート申 込書 【別紙1】	・外国人の方のみ提出。（ただし在留資格が「永住」の方を除く）	○	○	○
23	返信用封筒（2 枚）	<ul style="list-style-type: none"> ・長形3号封筒に、別紙「②返信用封筒貼付宛名ラベル」をカラー印刷したものを貼付して提出してください。モノクロ印刷の場合には、「特定記録」「速達」の文字と線を赤ペン等でなぞってください。 ・住所、建物名、部屋番号は正確に記入してください。宛名不完全や切手の料金不足で大学へ返送された場合は、改めて宛名ラベルをご提出いただく場合がございます。その場合は、受験票の送付及び結果通知が遅くなる可能性がございますので、ご注意ください。 ・郵送途中で剥がれないよう、紙の全面に糊付けをしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ア 受験票等送信用封筒 郵便切手 620 円分(110 円+速達 300 円+特定記録郵便 210 円 ※郵便料金が改定された場合は、改定後の金額)を貼ってください。 イ 合否結果送信用封筒 郵便切手 620 円分(110 円+速達 300 円+特定記録郵便 210 円 ※郵便料金が改定された場合は、改定後の金額)を貼ってください。 	○	○	○

*注：原則は原本の提出以外認めませんが、海外の大学出身者で、生涯に1通しか発行されない等、原本を提出できない事情がある場合には、以下の対応のうえ書類を準備してください。

- ・証明書のコピーに原本証明（原本と相違ない旨を出身大学が証明・押印）をしたものを提出すること。
- ・出身大学が原本証明できない場合には、証明書の原本を本学へ提出すること（原本は返却します）。
- ・原本も pdf 等の電子データのみしか発行していない場合は、出身大学から直接本学へデータを送付するように依頼すること。
- ・上記いずれの対応も不可能な場合は、早めに、必ず事前に日野キャンパス管理部学務課教務係入試担当へ連絡すること。

6 入学考査料の支払いについて

入学考査料（30,000 円）の支払方法等は下記のとおりです。

(1) Web による支払い（E-支払いサイト）の場合

- ・納付方法の詳細は、別紙「東京都立大学 大学院システムデザイン研究科入学考査料払込方法」を参照してください。
- ・E-支払サイト (<https://e-shiharai.net/>) へ事前申込のうえ、コンビニエンスストア、ペイジー対応の ATM、ネットバンキング、クレジットカード、又は銀聯網決済により納付してください。（日本国外から支払の場合は、クレジットカード、銀聯網決済のみ。）なお、振込手数料

料は各自で負担してください。

《①日本語サイトからの支払い》

支払後、「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」の部分を取り、本募集要項所定様式【様式2】に貼り、提出してください。

《②英語サイトからの支払い》

支払後、印刷した「Result Page」を出願書類と共に提出してください。

	支払期限
夏季入試	2025年5月26日(月)から同年6月18日(水)まで
冬季入試	2025年11月25日(火)から同年12月5日(金)まで

(注) E-支払サイトにおける手順等に関する質問については、同サイト上のFAQ又は「よくある質問 (<https://e-shiharai.net/Syuno/FAQ.html>) を参照したうえで、E-サービスサポートセンターへ問い合わせてください。

(2) 入学考査料の免除について

本学が指定する自然災害(東日本大震災、令和2年7月豪雨、令和6年能登半島地震)により本人又は主たる学資負担者が被災した志願者は、入学考査料を免除する場合がありますので、入学考査料の支払い前に、日野キャンパス管理部学務課教務係入試担当に問い合わせてください。

7 英語筆記試験に係るスコア提出方法について

一般選抜及び国費外国人留学生特別選抜においては、出願の際、英語筆記試験に代わり、学域ごとに定める外部英語検定試験のスコアを提出する必要があります(複数種類のスコア提出を可とします。その場合、最も評価の高いスコアを採用します。)。該当する志願者は、下表を必ず確認の上、次により出願手続等を行ってください。スコアが出願期間までに用意できるよう、早めに受験してください。

また、下表で定める外部英語検定試験については、2026年度入試での取扱いであり、2027年度入試以降は変更する場合があります。

〈学域ごとに定める外部英語検定試験について〉 ※○が提出可

募集学域	TOEFL-iBT	TOEFL-iBT SHE TOEFL-iBT HE	TOEIC
情報科学域	○	×	○
電気電子工学域	○	×	○
機械システム工学域	○	×	○
航空宇宙システム工学域	○	×	○
インダストリアルアート学域	○	×	○

(1) TOEFL のスコアを提出する場合

ア 対象となる試験

- ・TOEFL-iBT の試験の成績を採用します。TOEFL iBT Special Home Edition、TOEFL iBT Home Edition、TOEFL-PBT、改訂版 TOEFL ペーパー版テスト及び団体受験用の TOEFL-ITP は対象試験として認めません。

イ 有効期限

- ・入学試験実施日(夏季入試:2025年8月6日(水) 冬季入試:2026年1月23日(金))から過去2年以内に受験した対象試験の成績を有効とします。

ウ 出願方法

- ・志願票の「英語筆記試験」欄で、「TOEFL」の□にチェックすること。
- ・出願時に、対象試験の Test Taker Score Reports（受験者用控えスコア票）の原本及びコピー1部を提出する（原本は確認後お返しします）。

※TOEFL の検定料には1通分の Test Taker Score Reports 発行・送付料が含まれていますが、オンラインでのテスト申込時に「オンライン上でのスコアレポートと郵送されたコピー」を選択しないと発行・送付されませんので注意してください。（2023年12月現在）

※Official Score Reports（ETS から大学へ直接送付されるスコアレポート）は認めません。必ず出願書類一式と同封して提出してください。

(2) TOEIC のスコアを提出する場合

ア 対象となる試験

- ・TOEIC Listening & Reading Test（旧 TOEIC 公開テスト）の成績を採用します。TOEIC Speaking & Writing Tests、TOEIC Speaking Test、TOEIC Bridge Test 及び団体受験用の TOEIC-IP テストは対象試験として認めません。

イ 有効期限

- ・入学試験実施日（夏季入試：2025年8月6日（水） 冬季入試：2026年1月23日（金））から過去2年以内に受験した対象試験の成績を有効とします。

ウ 出願方法

- ・志願票の「英語筆記試験」欄で、「TOEIC」の□にチェックすること。
- ・出願時に、対象試験の Official Score Certificate（公式認定証）の原本及びコピー1部、またはデジタル公式認定証をダウンロードして印刷したもの1部（2024年4月以降受験者）を提出する。

※公式認定証の原本は確認後お返しします。

※2023年4月～2024年3月に受験した場合は、紙の認定証とデジタル認定証のどちらか一方を提出してください。

8 試験会場

東京都日野市旭が丘6丁目6番地

東京都立大学 日野キャンパス

9 合格者発表

発表日時から7日間に限り、システムデザイン研究科ホームページ (<https://www.sd.tmu.ac.jp/>) に掲載します。また、発表日時以降に郵送により本人あてに通知します。電話等による可否の問い合わせには応じません。

〈夏季入試 発表日時〉2025年8月29日（金） 午前10時

〈冬季入試 発表日時〉2026年2月6日（金） 午前10時

10 入学時期

2026年4月

11 入学手続

合格者（夏季入試での合格者については**入学確約書を提出した者**）には、2026年2月上旬までに入学手続き書類を郵送します。

12 その他

- (1) 出願書類に欠落がある場合は不受理となります。
- (2) 出願を受理した後は、一度納付した入学考査料は返還しませんので、出願については十分に検討したうえで納付してください。

入学考査料を振り込んだが出願しなかった場合、又は入学考査料を誤って二重に振り込んだ場合は、入学考査料の返還を申請することができます。

詳細は、本学のホームページ

(https://www.tmu.ac.jp/campus_life/tuition/expenses.html) をご確認ください。

「トップページ」→「入試案内」→「大学院入試」→「入学考査料・入学料・授業料」

- (3) 入学許可を受けた者が出願資格を失った場合は、入学許可を取り消します。
- (4) 入学許可後であっても、出願手続又は受験に不正があったと認められたときは、入学許可を取り消します。
- (5) **夏季入試での合格者は**、合格通知書と一緒に郵送する**入学確約書**に必要事項を記入し、**2025年9月12日（金）**までに日野キャンパス管理部学務課教務係入試担当まで郵送（必着）してください。
入学確約書を提出しない場合は、当研究科に入学の意思がないものとして取り扱います。
- (6) インダストリアルアート学域では合否通知の際、ポートフォリオの返却期間を案内しますので、期間内に受取りください。万が一この期間内に受取がない場合は本研究科で廃棄処分します。
- (7) 入学料は郵便局を除く金融機関の窓口から振込みをしてください。振込方法は別途連絡します。
 - ・入学料：東京都の住民 141,000 円（予定額）
それ以外の者 282,000 円（予定額）
 - ・「東京都の住民」とは、本人又はその者の配偶者若しくは一親等の親族が、入学の日（2026年4月1日）の1年前（2025年4月1日）から引き続き東京都内に住所を有する者をいいます。その認定は、本人が東京都内に在住の場合は本人の「住民票記載事項証明書」、その他の場合は、東京都内に在住する親族等の「住民票記載事項証明書」及び本人との親族関係を明らかにする戸籍抄本等により行います。
- (8) 授業料 年額 520,800 円（予定額）は、前期と後期の指定された期日までに、それぞれ年額の2分の1を口座振替により納めることとなります。
- (9) 入学料及び授業料は、入学時又は在学中に授業料等の改定があった場合には、改定後の金額が適用されます。なお、入学料と授業料には免除又は減額等の制度があります。
- (10) 東京都立大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「東京公立大学法人安全保障輸出管理規程」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れに際し、厳格な審査を行っています。規制されている事項に該当する場合は、入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、注意してください。なお、詳細については、以下の本学安全保障輸出管理のホームページを参照してください。

<https://www.tmu.ac.jp/cooperation/compliance/exportcontrol.html>

13 個人情報の取り扱いについて

本学では、個人情報について以下のとおり法令に基づき取り扱いますので、あらかじめご了承ください。

(1) 本学への出願の際にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、入学者選抜（出願処理、選考実施及び合格発表）及び入学手続を行うために使用します。

また、入学者の個人情報は、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料減免、奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために使用します。

(2) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成等に使用することがあります。

14 長期履修制度のお知らせ

本研究科では、長期履修制度を導入しています。制度の利用を希望する場合、申請手続が必要となります。詳しくは、出願する前に日野キャンパス管理部学務課教務係に問い合わせてください。

【特記事項（一般選抜）】

1 出願資格

(1) 出願資格

本文「2 出願資格(1)出願資格」(P. 2)の①から⑩のいずれかに該当する者
ただし、⑥、⑨又は⑩に該当する者は、事前に出願資格認定審査を行います (P. 2 参照)。

2 選抜方法

筆記試験等、面接の結果、成績証明書及び研究計画書、卒業研究の概要（インダストリアルアート学
域志願者はポートフォリオ又は論文）等を総合判定して合格者を決定します。

(注) 電気電子工学域は、希望指導教員で筆記試験の選択必答科目が異なるので、下記「3 試験日
時及び試験科目等」を必ず確認してください。

3 試験日時及び試験科目等

〈夏季入試〉

○試験科目等：面接（全学域）

数学（機械システム工学域、航空宇宙システム工学域）

専門科目（インダストリアルアート学域を除く学域）

小論文（インダストリアルアート学域）

英語（全学域）外部英語検定試験のスコアを利用します。

※試験日には英語の筆記試験を行いません。本文「7 英語筆記試験に係るスコア提出方法について」
(P. 10) を参照のこと。

※記載された科目を1科目でも受験しなかった場合、それ以降の科目の受験は認めません。

学 域	試 験 日	試験科目等	時 間
情報科学域	2025年8月6日(水) (1日のみ)	専門科目	9:30~12:00
		面 接	出願後本人に通知
	〔注意事項〕 ① 専門科目：出題範囲は、微分積分、線形代数、確率・統計、データ構造とアルゴリズムとします。 ② 専門科目：英語での解答可 ③ 面接：研究に対する抱負（専門分野に関する内容を含む）について質問します。		

電気電子工学域	2025年8月6日(水)	専門科目	9:30~12:00
	2025年8月7日(木)	面接	出願後本人に通知
	<p>〔注意事項〕</p> <p>① 専門科目：出題範囲は、微分積分、線形代数、電気回路学、電磁気学の4科目から出題するので、そのうち2科目を選択解答してください。ただし、出願時に志願票へ記入した第1希望とする指導教員が指定する1科目を必答とします(指導教員が指定する必答科目は、「指導予定教員一覧」(P.27)を参照すること)</p> <p>※上記の出題範囲に関連するキーワード等をシステムデザイン研究科ホームページ(https://www.sd.tmu.ac.jp/)に掲載します。</p> <p>② 面接：研究に対する抱負(専門分野に関する内容を含む)について質問します。</p>		
機械システム工学域	2025年8月6日(水)	数 学	9:30~11:00
		専門科目	13:00~14:30
	2025年8月7日(木)	面接	出願後本人に通知
<p>〔注意事項〕</p> <p>① 数学：出題範囲は、基礎数学、工業数学とします。 専門科目：出題範囲は、工業力学、材料力学とします。</p> <p>② 数学、専門科目：英語での解答可</p> <p>③ 面接：研究に対する抱負(専門分野に関する内容を含む)について質問します。</p>			
航空宇宙システム工学域	2025年8月6日(水)	数 学	9:30~11:00
		専門科目	13:00~14:30
		面接 (筆記試験受験者)	15:30~
	2025年8月7日(木)	面接 (筆記試験免除者)	10:30~
<p>〔注意事項〕</p> <p>① 数学：出題範囲は、微分積分、線形代数、常微分方程式、フーリエ解析、ラプラス変換、ベクトル解析、複素関数とします。 専門科目：材料力学、流体力学、熱力学及び制御工学の4科目から出題するので、そのうち2科目を選択解答してください。</p> <p>② 数学、専門科目：英語での解答可</p> <p>③ 面接：研究に対する抱負(専門分野に関する内容を含む)について質問します。</p>			

インダストリアルアート 学域	2025年8月6日(水) (1日のみ)	小論文	10:30~12:00
		面接	出願後本人に通知
	[注意事項] ① 小論文：英語での解答可（辞書（英和・和英）は紙媒体の辞書のみ持ち込み可） ② 面接では、出願時に提出してあるポートフォリオ・論文に関する説明を求めることがあります。		

(注) 2025年8月9日(土)を試験予備日とします。不測の事態により、試験日に予定されていた試験の一部又は全部が実施できない場合、試験予備日に実施することがあります。

・2025年8月6日(水)に実施できない場合

原則として、2025年8月7日(木)及び9日(土)に実施します。

・2025年8月6日(水)に実施し、同年8月7日(木)に実施できない場合

原則として、2025年8月9日(土)に実施します。

詳細及び上記によらない場合の対応については、システムデザイン研究科ホームページ(<https://www.sd.tmu.ac.jp/>)にて周知します。

<冬季入試>

○試験科目等：面接（全学域）

数学（機械システム工学域、航空宇宙システム工学域）

専門科目（インダストリアルアート学域を除く学域）

小論文（インダストリアルアート学域）

英語（全学域）外部英語検定試験のスコアを利用します。

※試験日には英語の筆記試験を行いません。本文「7 英語筆記試験に係るスコア提出方法について」(P.10)を参照のこと。

※記載された科目を1科目でも受験しなかった場合、それ以降の科目の受験は認めません。

学 域	試 験 日	試験科目等	時 間
情報科学域	2026年1月23日(金)	専門科目	9:30~12:00
		面接	出願後本人に通知
	[注意事項] ① 専門科目：出題範囲は、微分積分、線形代数、確率・統計、データ構造とアルゴリズムとします。 ② 専門科目：英語での解答可 ③ 面接：研究に対する抱負（専門分野に関する内容を含む）について質問します。		

電気電子工学域	2026年1月23日(金)	専門科目	9:30~12:00
		面接	出願後本人に通知
<p>〔注意事項〕</p> <p>① 専門科目：出題範囲は、微分積分、線形代数、電気回路学、電磁気学の4科目から出題するので、そのうち2科目を選択解答してください。ただし、出願時に志願票へ記入した第1希望とする指導教員が指定する1科目を必答とします(指導教員が指定する必答科目は、「指導予定教員一覧」(P.27)を参照すること)</p> <p>※上記の出題範囲に関連するキーワード等をシステムデザイン研究科ホームページ(https://www.sd.tmu.ac.jp/)に掲載します。また、英語での解答可</p> <p>② 面接：研究に対する抱負(専門分野に関する内容を含む)について質問します。</p>			
機械システム工学域	2026年1月23日(金)	数 学	9:30~11:00
		専門科目	13:00~14:30
		面接	出願後本人に通知
<p>〔注意事項〕</p> <p>① 数学：出題範囲は、基礎数学、工業数学とします。 専門科目：出題範囲は、工業力学、材料力学とします。</p> <p>② 数学、専門科目：英語での解答可</p> <p>③ 面接：研究に対する抱負(専門分野に関する内容を含む)について質問します。</p>			
航空宇宙システム工学域	2026年1月23日(金)	数 学	9:30~11:00
		専門科目	13:00~14:30
		面接	出願後本人に通知
<p>〔注意事項〕</p> <p>① 数学：出題範囲は、微分積分、線形代数、常微分方程式、フーリエ解析、ラプラス変換、ベクトル解析、複素関数とします。 専門科目：材料力学、流体力学、熱力学及び制御工学の4科目から出題するので、そのうち2科目を選択解答してください。</p> <p>② 数学、専門科目：英語での解答可</p> <p>③ 面接：研究に対する抱負(専門分野に関する内容を含む)について質問します。</p>			

インダストリアルアート 学域	2026年1月23日（金）	小論文	9:30～11:00
		面接	出願後本人に通知
	[注意事項] ① 小論文：英語での解答可（辞書（英和・和英）は紙媒体の辞書のみ持ち込み可） ② 面接では、出願時に提出してあるポートフォリオ・論文に関する説明を求めることがあります。		

（注） 2026年1月31日（土）を試験予備日とします。不測の事態により、試験日に予定されていた試験の一部又は全部が実施できない場合、試験予備日に実施することがあります。詳細は、システムデザイン研究科ホームページ（<https://www.sd.tmu.ac.jp/>）にて周知します。

【特記事項（社会人特別選抜）】

1 概要

- (1) この選抜は東京都立大学大学院システムデザイン研究科に入学を希望する社会人に対し、一般選抜試験とは別に行われるものである。
- (2) 本選抜試験を経て入学した学生は、一般選抜試験による入学者と全く同等に扱われる。

2 出願資格

(1) 出願資格

入学時まで企業等(※1)において1年以上正規の職員として勤務し、勤務成績が優秀であると所属長に認められ、**在職のまま入学を希望する者**で、本文「2 出願資格(1)出願資格」(P. 2)の①から⑧及び⑩のいずれかに該当する者(※2)

(※1)「企業等」とは、**民間企業、官公庁、教育機関、研究機関等**をいいます。なお、民間企業の中に個人事業主を含みます。

(※2) ⑥又は⑩に該当する者は、事前に出願資格認定審査を行います(P. 2参照)。

3 選抜方法

口頭試問、業務経歴書、研究業績書、研究計画書、卒業論文／卒業制作及び研究論文(インダストリアルアート学域志願者はポートフォリオ又は論文)、推薦書、成績証明書、受験承諾書等を総合判定して合格者を決定します。

4 試験日時及び試験科目等

〈夏季入試〉

学 域	試 験 日 時	試 験 科 目 等
情報科学域	2025年8月6日(水) 又は8月7日(木) の各学域が指定する日時 ※受験票の発送時に本人へ通知	口頭試問
電気電子工学域		
機械システム工学域		
航空宇宙システム工学域		
インダストリアルアート学域 (※)		

(※) インダストリアルアート学域の口頭試問では、出願時に提出してあるポートフォリオ・論文に関する説明を求められることがあります。

(注) 2025年8月9日(土)を試験予備日とします。不測の事態により、試験日に予定されていた試験の一部又は全部が実施できない場合、試験予備日に実施することがあります。

詳細及び上記によらない場合の対応については、システムデザイン研究科ホームページ(<https://www.sd.tmu.ac.jp/>)にて周知します。

〈冬季入試〉

学 域	試 験 日 時	試験科目等
情報科学域	2026年1月23日(金) の各学域が指定する時間 ※受験票の発送時に本人へ通知	口頭試問
電気電子工学域		
機械システム工学域		
航空宇宙システム工学域		
インダストリアルアート学域 (※)		

(※) インダストリアルアート学域の口頭試問では、出願時に提出してあるポートフォリオ・論文に関する説明を求めることがあります。

(注) 2026年1月31日(土)を試験予備日とします。不測の事態により、試験日に予定されていた試験の一部又は全部が実施できない場合、試験予備日に実施することがあります。詳細は、システムデザイン研究科ホームページ(<https://www.sd.tmu.ac.jp/>)にて周知します。

【特記事項（国費外国人留学生特別選抜）】

1 概要

- (1) この選抜は東京都立大学大学院システムデザイン研究科に入学を希望する国費外国人留学生に対し、一般選抜試験とは別に行われるものである。
- (2) 本選抜試験を経て入学した学生は、一般選抜試験による入学者と全く同等に扱われる。
- (3) 東京都立大学大学院システムデザイン研究科の授業は原則として日本語で行われる。

2 出願資格

日本国政府（文部科学省）国費外国人留学生のうち、入学後日本語で教育及び研究指導を受ける意思があり、長期に渡る留学に耐えられる健康状態の者で、本文「2 出願資格(1)出願資格」(P. 2)の③、④、⑤、⑥又は⑩のいずれかに該当する者

3 選抜方法

筆記試験等、面接の結果、成績証明書及び研究計画書、卒業研究の概要（インダストリアルアート学域志願者はポートフォリオ又は論文）等を総合判定して合格者を決定します。

（注）電気電子工学域は、希望指導教員で筆記試験の出題範囲が異なるので、「【特記事項（一般選抜）】」(P. 13～)を必ず確認してください（出題範囲は一般選抜と同一です）。

4 試験日時及び試験科目等

一般選抜と同一とします。「【特記事項（一般選抜）】」(P. 13)を確認してください。

博士前期課程の概要

【情報科学域】

情報科学域では基礎理論、アーキテクチャ、コンテンツを柱とするコンピュータサイエンスに基盤を置きつつ、特に「データサイエンス分野」、「人間情報・知能情報分野」、「ネットワークサイエンス分野」、「コンテンツ情報処理分野」、「情報システムアーキテクチャ」の五つの分野に関する最先端の技術を重視した教育研究を実施する。最新かつ実践的な知識と研究開発能力を身につけることができるようカリキュラムを構成することで、ダイナミックな産業構造を有し、急速な進展を続ける高度な知的社会の構築に貢献できる人材の育成を目指す。

(1) データサイエンス分野

様々な先端技術開発において求められる高度なデータ解析・活用を実現するための情報処理技術に関する知識を習得する。主要科目は、波動情報工学特論、データ工学特論、情報可視化システム特論、パターン情報処理特論、数値解析特論、時空間情報処理特論などである。

(2) 人間情報・知能情報分野

人間情報や知能情報など知的処理・システムの実現に関する先端技術に関する知識を修得する。主要科目は、知能情報処理特論、HCI 特論、認知科学特論、データ統計解析学特論などである。

(3) ネットワークサイエンス分野

人やモノ等の多様な対象がネットワークで相互接続されることで大きな付加価値を生み出す情報ネットワーク・ソーシャルネットワークに関する先端技術を修得する。主要科目は情報ネットワーク特論、ネットワーク科学特論、情報ネットワーク品質特論、情報セキュリティ特論などである。

(4) コンテンツ情報処理分野

コンテンツ情報を分析、認識、生成するための信号処理や機械学習、並びにプライバシー保護や生体認証などのセキュリティ技術に関する知識を修得する。主要科目は、音響信号処理特論、音声信号処理特論、画像処理特論、メディア通信システム特論などである。

(5) 情報システムアーキテクチャ分野

情報システムの基盤となるハードウェアとソフトウェアの高度な理論と実装を探究し、コンピュータアーキテクチャやネットワークシステムの先端技術に基づいて次世代の情報基盤を創出する能力を修得する。主要科目は並列処理特論、コンピュータシステム特論、ソフトウェア信頼性工学特論、大規模数理モデリング特論などである。

【電気電子工学域】

電気電子工学は、エレクトロニクス、通信、エネルギーに代表されるように、現代社会を支える基盤技術であると同時に、先端・フロンティア技術でもある。新たな技術開発においても、電気電子工学の果たす役割は今後ますます重要なものとなることが予想される。このような背景を踏まえ、

本学域では、電気電子工学分野の高度な専門教育と先端的課題研究を通して、「電気電子工学技術に関する体系的・総合的知識基盤を持つ創造的な技術者・研究者を育成すること」を基本理念としている。そして、電磁気学および電気回路学を電気電子工学における学問体系の主要な柱と位置づけ、これらの体系的・総合的知識に基づく高度な実践力、課題解決・発見能力、高い倫理観・使命感を兼ね備えた技術者・研究者の育成を目指している。主な学術分野は下記の4つとなる。

(1) 電磁波・光計測分野

電磁波・光信号を用いた通信技術や信号処理記述、原子・分子の分光計測、環境計測などの光応用計測技術に関する教育研究を行う。主要科目は、光応用計測特論、光ファイバ通信工学特論、原子分子物性特論などである。

(2) 医用工学・生体計測分野

生体の諸特性や生体機能を踏まえ、電磁界、電気信号、超音波などを介した生体・生命体等の計測・評価などや、電気力学の基礎や応用に関する教育・研究を行う。主要科目は、マイクロダイナミクス特論、生体医工学特論などである。

(3) 機能デバイス・電子システム分野

情報・通信システムやセンシングシステムなどを支える機能デバイス・システム創成、計測基準の生成に関する教育研究を行う。主要科目は、機能電子材料工学特論、機能回路工学特論、半導体デバイス工学特論などである。

(4) エネルギーシステム分野

パワーエレクトロニクス、エネルギーマネージメント、電磁エネルギー応用、エネルギー・環境応用、最適化理論応用などに関する教育研究を行う。主要科目は、放電プラズマ工学特論、超伝導工学特論、パワーエレクトロニクス特論、システム最適化特論などである。

【機械システム工学域】

機械システム工学域では、主体的な研究開発や問題解決を行うための高度な知識を獲得させるため、3つの基幹分野である「知能機械領域」、「機械創成領域」、「生体機械領域」に関する講義を開講している。講義科目において高度な知識を体系的かつ横断的に学修させるとともに、上記3つの基幹分野のいずれかのテーマについて、最先端の工学を学生が確実に身につけられるように、少人数ごとに指導教授が直接的な研究指導を行っている。また、複数の教員による分野横断的観点で研究の進捗を評価する研究発表会を実施している。博士前期課程では、理論の修得、文献の調査・分析、実験手法の修得、システムの構築など、きめ細かな教育により研究論文をまとめる能力を育成している。そしてこれらの学修を通じて、十分な基礎学力、論理的思考力、問題設定・解決能力、柔軟な思考と大胆な発想力、倫理観を併せ持つ人材を育成することを教育・研究の目標とする。

各分野の教育研究内容と講義科目は以下のとおりである。

(1) 知能機械領域

「機械制御・知能化システム」および「サービス情報・ロボット工学」に関連する教育・研究を行う。これらに対応する主要な科目は、ロボット知能特論、ロボットシステムデザイン特論、ユビキタスロボティクス特論、適応学習制御特論、ライフサイクルデザイン特論、動的システム

工学特論、マイクロ機械要素特論、ロバスト制御工学特論、非線形制御特論などである。

(2) 機械創成領域

「機能表面・ナノマイクロデバイス」と「機械材料・材料加工」に関連する教育・研究を行う。これらに対応する主要な科目は、表面工学特論、マイクロ機能デバイス特論、ナノ構造・環境調和デバイス特論、表面の構造と制御、流体工学特論、材料環境工学特論、材料加工特論、複合材料工学特論などである。

(3) 生体機械領域

「医用工学・生体工学」および「人間工学・福祉工学」関連する教育・研究を行う。これらに対応する主要な科目は、生体機能工学特論、細胞制御工学特論、バイオメカニクス特論、応用人間工学特論、生体熱物質輸送特論、材料評価工学特論、機械力学特論、医工学特論などある。

【航空宇宙システム工学域】

教育研究の専門分野構成は、流体力学、推進システム工学、材料・構造工学、誘導制御工学、システム設計工学、宇宙利用工学の6分野からなる。各分野とも2つ以上の講義科目と4つの演習科目（各半期）を用意している。

各分野の教育研究内容と講義科目は以下のとおりである。

(1) 流体力学分野

飛翔体の空力性能に関わる流れの諸問題や航空宇宙分野のさまざまな流体现象に関する教育研究を行う。主要科目は、高速空気力学特論、数値流体力学特論、空力音響学特論である。

(2) 推進システム工学分野

航空機やロケットの推進システムや宇宙空間での移動のための電気推進に関する教育研究を行う。主要科目は、燃焼工学特論、宇宙推進システム工学特論である。

(3) 材料・構造工学分野

航空機・ロケットの複合材料構造や耐熱材料、宇宙環境での材料プロセスに関する教育研究を行う。主要科目は、高温材料工学特論、軽量宇宙構造物工学特論である。

(4) 誘導制御工学分野

宇宙ロボット・宇宙テザーなどの宇宙インフラストラクチャの力学と制御、宇宙環境でのデブリ除去、航空交通管理ならびに航空機制御に関する教育研究を行う。主要科目は、宇宙機制御工学特論、航空交通管理特論、航空通信・航法・監視システム特論、航空機制御工学特論である。

なお、この分野の教育研究には連携大学院（宇宙航空研究開発機構、海上・港湾・航空技術研究所）の客員教授が加わる。

(5) システム設計工学分野

航空機・宇宙機を構成する要素設計、及びそのための数理的手法のほか、それらの機能確認やシステムインテグレーションに関する教育研究を行う。主要科目は、宇宙航行力学特論、航空宇宙設計工学特論である。

(6) 宇宙利用工学分野

宇宙からの衛星を利用したリモートセンシング、光計測および宇宙でのトライボロジー技術、

電磁情報流通及び電波利用技術に関する教育研究を行う。主要科目は、宇宙航空電磁波システム特論、宇宙光計測工学特論、宇宙トライボロジー特論である。

なお、この分野の教育研究には連携大学院（宇宙航空研究開発機構、情報通信研究機構）の客員教授が加わる。

【インダストリアルアート学域】

インダストリアルアート学域では、「プロダクトデザイン」と「メディア創生」の2つの研究領域を基軸とし、多様に連携しながら最先端の研究を推進し、新しい価値の創造を展開していく。工学系デザインと芸術文化的な基盤を総合的に捉え、新しい価値やグローバルなネットワークを生み出すことができるデザイン・アート分野の研究者や、先端的なアプローチ、コンセプト、枠組みのデザインを創造・研究・実践するクリエイター等、文化創造の担い手となる人材の育成を目指している。

各領域の教育研究内容と講義科目は以下の通りである。

(1) プロダクトデザイン領域

交通機関、家電製品、工業製品、インテリア、空間、インタフェースなどのデザインや人間工学など、人と環境双方からのアプローチによるデザイン教育・研究を行う。主要科目は、トランスポートデザイン特論、製品・サービスデザイン特論、インテリアデザイン特論、Advanced course of spatial design、インタフェースデザイン特論、ヒューマンセンタードデザイン特論などである。

(2) メディア創生領域

インタラクティブアート、映像、ヴィジュアルコミュニケーション、ネットワーク、ソフトウェアなどのデザインや文化編集など、先端メディア・テクノロジーおよびデザイン、芸術文化に関する教育・研究を行う。主要科目は、メディアアート特論、キネマトグラフィックス特論、視覚伝達特論、ネットワークデザイン特論、ソフトウェアデザイン特論、文化編集学特論などである。

上記2領域の科目の他に、本学域が基幹となる研究プロジェクト演習をシステムデザイン研究科全学域に向けて展開している。

博士前期課程 指導予定教員一覧(1)

学域名	分野名	教員 職・氏名	
情報科学域 Department of Computer Science (CS)	データサイエンス Data Science	教授	大久保 寛
		教授	片山 薫
		教授	高間 康史
		教授	田川 憲男
		准教授	相馬 隆郎
		准教授	横山 昌平
	人間情報・知能情報 Human Informatics	教授	岡本 正吾
		教授	西内 信之
		准教授	下川原 英理
		准教授	福井 隆雄
		准教授	伏木田 稚子
	ネットワークサイエンス Network Science	教授	會田 雅樹
		教授	朝香 卓也
		教授	松田 崇弘
		准教授	酒井 和哉
	コンテンツ情報処理 Content and Media Processing	教授	小野 順貴
		教授	西川 清史
		教授	藤吉 正明
		准教授	塩田 さやか
		准教授	杉村 大輔
情報システムアーキテクチャ Advanced Computing Systems Architecture	教授	鈴木 敬久	
	教授	福本 聡	
	教授	三浦 幸也	
	准教授	渋谷 正弘 ※	
	准教授	肖 霄	

※ 2027年3月定年退職予定

博士前期課程 指導予定教員一覧(2)

学域名	教員 職・氏名		選択必答科目
電気電子工学域 Department of Electrical and Electronic Engineering (EEE)	教授	内田 諭	電磁気学
	教授	五箇 繁善	線形代数
	教授	柴田 泰邦	線形代数
	教授	須原 理彦	電気回路学
	教授	朽久保 文嘉	電磁気学
	教授	三浦 大介	電磁気学
	教授	和田 圭二	電気回路学
	准教授	坂本 高秀	線形代数
	准教授	佐藤 隆幸	電磁気学
	准教授	田村 健一	線形代数
	准教授	中川 雄介	電磁気学
	准教授	中村 成志	電気回路学

博士前期課程 指導予定教員一覧(3)

学域名	領域名	教員 職・氏名
機械システム工学域 Department of Mechanical Systems Engineering	知能機械 Intelligent Mechanical Systems	教授 小口 俊樹
		教授 久保田 直行
		教授 児島 晃
		教授 下村 芳樹 ※
		教授 武居 直行
		教授 増田 士朗
		准教授 水上 孝一
		准教授 和田 一義
		連携大学院教授 安藤 慶昭
		連携大学院教授 大関 崇
		連携大学院教授 谷川 民生
		連携大学院教授 持丸 正明
		機械創成 Mechanical Innovation
	教授 金子 新	
	教授 小林 訓史	
	教授 楊 明 ※	
	准教授 清水 徹英	
	准教授 菅原 宏治	
	准教授 高橋 智	
	連携大学院教授 瀬川 武彦	
	生体機械 Biomechanical Engineering	教授 小原 弘道
		教授 角田 直人
		教授 長谷 和徳
		教授 藤江 裕道 ※
		教授 三好 洋美
		准教授 坂元 尚哉
		准教授 山本 暁久

※ 2027年3月定年退職予定

博士前期課程 指導予定教員一覧(4)

学域名	分野名	教員 職・氏名	
航空宇宙システム工学域 Department of Aeronautics and Astronautics	流体力学 Aerodynamics and Fluid Dynamics	准教授	稲澤 歩
		准教授	嶋村 耕平
		准教授	田川 俊夫
	推進システム工学 Propulsion Systems	教授	各務 聡
		准教授	櫻井 毅司
	材料・構造工学 Materials and Structures	教授	北菌 幸一
		准教授	鳥阪 綾子
	誘導制御工学 Guidance, Control and Dynamics	教授	小島 広久
		教授	武市 昇
		連携大学院 教授	古賀 禎
		連携大学院 教授	濱田 吉郎
		連携大学院 教授	牧 緑
	システム設計工学 Systems Design Engineering	教授	金崎 雅博
		教授	佐原 宏典
	宇宙利用工学 Space Utilization Technology	教授	石井 昌憲
		連携大学院 教授	松本 康司
		連携大学院 教授	諸橋 功

博士前期課程 指導予定教員一覧(5)

学域名	領域名	教員 職・氏名	
インダストリアルアート 学域 Department of Industrial Art	プロダクトデザイン Product Design	教授	笠松 慶子
		教授	金 石振
		教授	馬場 哲晃
		教授	藤原 敬介
		准教授	田中 聡一郎
		准教授	土屋 真
	メディア創成 Media Creation	准教授	ADAMS, Ver1
		教授	楠見 清
		教授	中安 翌
		教授	向井 智彦
		准教授	安藤 大地
		准教授	杉本 達應
准教授	FIRFOVA NEDA		

出願書類様式

Application form

一般選抜

General Selection

社会人特別選抜

Special Selection for Working Adults

国費外国人留学生特別選抜

Special Selection of International Students Sponsored
by Japanese Government (MEXT) Scholarship

出願資格認定審査申請書

Eligibility Screening Application Form

フリガナ Phonetic		生年月日 Date of birth	年	月	日
氏名 Name			Year	Month	Day
出願を希望する学域 Preferred department	<input type="checkbox"/> 情報科学域 Department of Computer Science <input type="checkbox"/> 電気電子工学域 Department of Electrical and Electronic Engineering <input type="checkbox"/> 機械システム工学域 Department of Mechanical Systems Engineering <input type="checkbox"/> 航空宇宙システム工学域 Department of Aeronautics and Astronautics <input type="checkbox"/> インダストリアルアート学域 Department of Industrial Art				
希望領域/分野及び希望指導教員名 Preferred Field/Area and prospective supervisor	領域/分野 Field/Area	希望指導教員 Prospective supervisor			
現住所 Permanent address	〒(Zip)	電話 Phone number			
緊急連絡先 Emergency contact	〒(Zip)	電話 Phone number			
メールアドレス Email Address					
学歴 Educational Background	日本の教育課程の場合は高等学校卒業から、外国の教育課程の場合は小学校相当入学から入学年月、卒業年月共に記入すること。欄が不足する場合は職歴欄を使用してもよい。 (In the case of a foreign curriculum, write both entrance years and graduation years and months above elementary school. If no enough space, write in "Employment history" space.)				
	Year	Month			
	Year	Month			
	Year	Month			
	Year	Month			
	Year	Month			
	Year	Month			
	Year	Month			
	Year	Month			
職歴 Employment history					
	Year	Month			
	Year	Month			
	Year	Month			
	Year	Month			

受験番号： _____ ※

筆記試験等免除希望調書

Application for exemption of written examination

フリガナ Phonetic		学修番号 Student number (東京都立大学在籍者のみ記入)	
氏名 Name		志望学域 及び領域/分野 Preferred department and Field/Area	
希望指導教員名 Prospective supervisor			
自己の学業成績を優秀と判断する具体的理由 Specific reasons that contributed to your outstanding academic performance			
上記理由を証明する成績データなど (例：優評価単位数/総取得単位数など) Certification or data to verify the above (e.g. The number of credits that you have taken, and the number of credits for which you have received high grades)			
上記理由をふまえて、筆記試験等免除を希望いたします。 なお、本入学試験に合格した場合には、必ず入学をすることを確約いたします。 I am applying for an exemption of the written exam as stated in the reasons above. If I pass the entrance examination, I pledge to enter Tokyo Metropolitan University.			
署名 Signature _____ (受験生が自筆にて署名すること To be signed by the candidate in own handwriting.)			
連絡先 Contact information	携帯電話 Mobile number : _____ メールアドレス Email address : _____		

※欄は記入しないでください。

Please do not fill up the blank with ※mark.



2026 年度 東京都立大学 大学院システムデザイン研究科
一般選抜・国費外国人留学生特別選抜志願票 (博士前期課程)
APPLICATION FORM FOR ADMISSION

The master's program of Graduate School of Systems Design, Tokyo Metropolitan University
(General Selection and Special Selection of International Students Sponsored by Japanese Government (MEXT) Scholarship, 2026)

- 1 選抜区分 一般選抜
General Selection
 国費外国人留学生特別選抜
Special Selection of International Students Sponsored by Japanese Government (MEXT) Scholarship

※筆記試験免除者は右記□にチェックを入れること。

Check the box on the right if you are exempted from the written test.

2 フリガナ Phonetic: _____

氏名 Name: _____

生年月日 Date of birth: 西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日生

Year Month Day

性別 Sex: 男 Male 女 Female / 年齢 Age: _____

国籍 (外国人のみ記入) Nationality: _____

メールアドレス Email Address: _____

3 志望する学域/領域/分野/希望指導教員 Preferred Department/Field/Area/ Prospective supervisor

- 情報科学域 Department of Computer Science
 電気電子工学域 Department of Electrical and Electronic Engineering
 機械システム工学域 Department of Mechanical Systems Engineering
 航空宇宙システム工学域 Department of Aeronautics and Astronautics
 インダストリアルアート学域 Department of Industrial Art

第1希望 First choice

領域/分野 Field/Area: _____ 教員名 Prospective supervisor: _____

第2希望 Second choice

領域/分野 Field/Area: _____ 教員名 Prospective supervisor: _____

4 出身大学等 Alma mater

国立・公立・私立・その他 National/Public/Private/others (Choose one)

大学名 University name: _____

学部 Faculty: _____

学科 Course: _____

卒業 (見込) 年月 Month and year of graduation: 西暦 _____ 年 _____ 月

Year Month

学修番号 (東京都立大学在籍者のみ記入) Student number: _____

5 現住所 Mailing address

郵便番号 Zip _____ 電話 Phone number _____

住所 Address: _____

6 英語筆記試験 English language test TOEFL TOEIC

※スコアの提出については、P10「7 英語筆記試験に係るスコア提出方法について」を参照すること。

履 歴 書 Curriculum vitae

姓名 (自国語)

Name in native language _____
(Family name) (First name) (middle name)

ローマ字

In Roman block capitals _____
(Family name) (First name) (middle name)

1 学歴 Educational background

日本の教育課程の場合は高等学校から最終学歴（在学中を含む）まで、外国の教育課程の場合は小学校相当から最終学歴（在学中を含む）まで入学年月、卒業（見込）年月共に記入すること。欄が不足する場合は職歴欄を使用してもよい。

(In the case of a foreign curriculum, write both entrance years and graduation years and months above elementary school. If no enough space, write in “Employment history” space.)

学校名 Name of school	在学期間（見込） Period of attendance
	From to

2 職歴 Employment history

勤務先 Name of employer	会社所在地 Location of employer	在職期間（見込） Period of employment
		From to
		From to
		From to

志願票等記入上の注意事項 (Precautions for filling out application form and curriculum vitae)

- 1 志願者本人が黒又は青のボールペンを使用して楷書で記入してください。なお、※印の欄には記入しないでください。
- 2 誤って記入した場合は、誤記部分を二重線で消して訂正してください。
- 3 「性別」欄は、男女の記入をしてください。
- 4 志望領域/分野名及び希望指導教員名は、本要項を参照してください。
希望指導教員名は第2希望まで記入してください。
- 5 出願後の志望学域等の変更は認めませんので、十分検討の上記入してください。
- 6 志願票と他の記載事項が異なる場合は、志願票により処理しますので、記入にあたっては注意してください。
- 7 記入事項に不備がある場合は、受理できません。
- 8 電話番号は、日中に連絡が取れるところを記入してください。
- 9 年号はすべて西暦で記入してください。

【様式1】



2026 年度 東京都立大学 大学院

システムデザイン研究科 社会人特別選抜志願票（博士前期課程）

志願者	フリガナ		国籍	受験番号
	氏名		(外国人のみ記入)	※
生年月日			性別	年齢
(西暦) 年 月 日			男 ・ 女	才
志望する 学域等 (□にチェックすること)	学域名		志望領域/分野・希望指導教員名	
	<input type="checkbox"/> 情報科学域 <input type="checkbox"/> 電気電子工学域 <input type="checkbox"/> 機械システム工学域 <input type="checkbox"/> 航空宇宙システム工学域 <input type="checkbox"/> インダストリアルアート学域		_____ 領域/分野 教員名： _____	
出身大学等	国・公・私 立	大学	学部	学科・専攻 コース
	【学校所在地】 〒		((西暦) 年 月 卒業・卒業見込)	
現住所	〒			
連絡先	電話番号		メールアドレス	
勤務先	名称・所属		所在地及び電話番号	
	〒		電話 — —	

履歴票

氏名			
学歴	年 月	高校	卒業
	年 月	大学	入学
	年 月	大学	卒業
	年 月		
	年 月		
職歴	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
備考			

志願票等記入上の注意事項

- 1 志願者本人が黒又は青のボールペンを使用して楷書で記入してください。なお、※印の欄には記入しないでください。
- 2 誤って記入した場合は、誤記部分を二重線で消して訂正してください。
- 3 「性別」欄は、男女の記入をしてください。
- 4 志望領域/分野名及び希望指導教員名は、本要項を参照してください。
- 5 出願後の志望学域等の変更は認めませんので、十分検討の上記入してください。
- 6 出身大学については、国公立の別及び学校名を記入してください。また、出身大学の所在地も忘れずに記入してください。
- 7 志願票と他の記載事項が異なる場合は、志願票により処理しますので、記入にあたっては注意してください。
- 8 記入事項に不備がある場合は、受理できません。
- 9 電話番号は、日中に連絡が取れるところを記入してください。
- 10 年号はすべて西暦で記入してください。

【様式2】
2026年度

東京都立大学大学院システムデザイン研究科

博士前期課程

The master's program of graduate school of systems design,
Tokyo Metropolitan University

写真票

Photography

志望学域 Department	学域
※ 受験番号 Examinee's number	(記入しない)
選抜区分 (□にチェック) Choose the preferred Selection	<input type="checkbox"/> 一般選抜 General Selection <input type="checkbox"/> 社会人特別選抜 Special Selection for Working Adults <input type="checkbox"/> 国費外国人留学生特別選抜 Special Selection of International Students Sponsored by Japanese Government (MEXT) Scholarship
フリガナ	
氏名 Name	

【写真貼付欄】

- 3ヵ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向きの写真を枠内に貼付してください。
- 縦4cm×横3cm

【ATTACH PHOTO HERE】

- Photo taken within the past 3 months.
- Height 4cm×Width 3cm

切り取らないこと

切り取らないこと

入学考査料証明書添付用紙
Certificate for a Fee Payment by using Web Site

氏名 Name	
選抜区分 (□にチェック) Choose the preferred Selection	<input type="checkbox"/> 一般選抜 General Selection <input type="checkbox"/> 社会人特別選抜 Special Selection for Working Adults <input type="checkbox"/> 国費外国人留学生特別選抜 Special Selection of International Students Sponsored by Japanese Government (MEXT) Scholarship
志望学域 Department	学域

(1) ウェブによる支払い
この用紙に「収納証明書」を添付

(2) 入学考査料の免除
該当するものに
 自然災害による被災のため、免除申請
⇒出願前に電子メールにてお問い合わせください。
メールアドレス: admission-sd@jmj.tmu.ac.jp

※ 受験番号(記入しない) Examinee's number

2026年度

東京都立大学大学院システムデザイン研究科

博士前期課程

The master's program of graduate school of systems design,
Tokyo Metropolitan University

受験票

Examination admission card

志望学域 Department	学域
※ 受験番号 Examinee's number	(記入しない)
選抜区分 (□にチェック) Choose the preferred Selection	<input type="checkbox"/> 一般選抜 General Selection <input type="checkbox"/> 社会人特別選抜 Special Selection for Working Adults <input type="checkbox"/> 国費外国人留学生特別選抜 Special Selection of International Students Sponsored by Japanese Government (MEXT) Scholarship
フリガナ	
氏名 Name	

【注意事項】

- 1 受験票は当日必ず持参してください。
- 2 指定された時刻までに試験室に入室してください。
- 3 試験開始後30分以内の遅刻に限り受験を認めます。
- 4 試験中は、受験票、黒鉛筆(シャープペンシルも可)、消しゴム、鉛筆削り、時計(時計機能だけのもの)及び辞書(電子辞書は不可)等の指定されたもの以外は机の上に置くことはできません。
- 5 自動車(二輪車を含む)で学内へは入場できません。電車、バス等公共交通機関を利用してください。

連絡用宛名用紙
address sheet

住所
Address 〒

フリガナ

氏名
Name

様

【入学手続案内中】

切り取らないこと

東京都立大学大学院
システムデザイン研究科
(発送元:日野キャンパス管理部 学務課教務係)

〒191-0065 東京都日野市旭が丘6-6
電話番号:042-585-8623

※ 受験番号(記入しない) Examinee's number

受験番号: _____ ※

受験承諾書 Letter of approval

2026年度東京都立大学大学院システムデザイン研究科（博士前期課程）の学生募集にあたり、
（志願者名）_____ が下記の選抜を受験することを承諾します。

I approve of (Name of applicant) _____'s application to the following Selection※
(Master's program), 2026.

【選抜 (Selection)】

下記のうちからひとつ選択し、チェックを入れること。
(Choose the preferred Category of Selection.)

- 一般選抜
(General Selection)
- 社会人特別選抜
(Special Selection for Working Adults)
- 国費外国人留学生特別選抜
(Special Selection of International Students Sponsored by Japanese Government (MEXT) Scholarship)

Date: _____ , _____ , _____
 Year Month Day

署名 Signature: _____

(本学希望指導教員が自筆にて署名すること)

※欄は記入しないでください。
Please do not fill up the blank with ※ mark.

受験番号: _____ ※

研究計画書 Research plan

(枚中 枚)

氏名 Name		希望指導教員 Prospective supervisor	
志望学域 Preferred department		志望領域/分野 Preferred Field/Area	

研究題目の設定について 1. テーマ 2. そのテーマを希望する理由・動機 3. そのテーマに関する研究の状況や背景 4. 研究の目的 5. 考えられる研究の方法 6. その研究の特色の各項目について分かりやすく記載してください。

Please state contents of your prospective research clearly in the following space including 1.title, 2.your motive, 3.research background, 4.objective, 5.method and 6.research features.

※欄は記入しないでください。

Please do not fill up the blank with ※ mark.

受験番号: _____ ※

卒業研究（卒業論文／卒業制作）の概要

Outline of graduation research (graduation thesis / graduation production)

(枚中 枚)

氏名 Name		希望指導教員 Prospective supervisor	
志望学域 Preferred department		志望領域/分野 Preferred Field/Area	

卒業研究について 1. テーマ、2. テーマを希望した理由・動機、3. テーマに関する研究の状況や背景、4. 研究の目的、5. 研究の方法及び結果、6. 結論の各項目についてわかりやすく記載してください。(必要に応じて図等を貼付してください。)

Please state contents of your prospective research clearly in the following space including 1.title, 2.your motive, 3.research background, 4.objective, 5.method and 6.conclusion.(Please attach figures etc. if necessary.)

※欄は記入しないでください。

Please do not fill up the blank with ※ mark.

受験番号: _____ ※

研 究 業 績 書 Research achievements

Date: _____ , _____ , _____
Year Month Day

氏 名 Name _____

生年月日 Date of birth _____

現住所 Permanent address _____

電話番号 Phone number _____

研究論文、特許・実用新案、技術報告、学術講演、作品発表、卒業論文等を有する場合は、添付すること。

Please attach research papers, patents, utility models, technical reports, academic presentations, exhibitions, and a graduation thesis, if any.

年 月 Year Month	内 容 Description
	論文等の名称、発行所・発表雑誌・発表学会等の名称、単・共著の別、論文等の概要説明を100～150字程度で分かりやすく記載してください。 For published research papers/articles, state the title, name of the publisher/journal/conference, names of authors, and a brief explanation within 150 words for each publication.

※欄は記入しないでください。

Please do not fill up the blank with ※mark.

受験番号: _____ ※

業 務 経 歴 書

(西暦) 年 月 日

氏 名 _____

生年月日 _____

現 住 所 _____

電話番号 _____

職 歴	
(在職中に行った職務・研究・開発等の内容が分かるように詳しく記載してください。)	
現在の勤務先	〒 電話
(西暦) 年 月	事 項
自 年 月 至 年 月	
(その他特記事項がある場合は、記入してください。)	

※欄は記入しないでください。

受験番号: _____ ※

推 薦 書

(西暦) 年 月 日

所在地

会社名

役職

推薦者

2026年度東京都立大学大学院システムデザイン研究科（博士前期課程）社会人特別選抜の学生募集にあたり、志願者（氏名）_____を下記のとおり、本人の所属長（職）_____（氏名）_____とともに推薦します。

記

志願者	氏 名	
	生 年 月 日	(西暦)
	現 住 所	
	電 話 番 号	
志望する学域 及び希望指導教員		学域
推薦理由（本学に期待する事項、志願者の性格・能力等、在職中の評価・将来性その他）		
紙面が足りない場合は、裏面に記入してください。		

※欄は記入しないでください。

(注)「出身大学の指導教員又は本人をよく知る者」が記載する場合は、推薦者欄にはこの推薦書記入者の氏名を記入し、文中の所属長欄は空欄にしてください。

Date: Year Month Day

Pledge

Dear President of Tokyo Metropolitan University:

Full name: _____

(Signature) _____

I hereby pledge to comply with the following items regarding my enrollment or employment by Tokyo Metropolitan University.

1. During enrollment or employment at Tokyo Metropolitan University, I will neither provide nor carry out any property belonging to the University without permission. In any of the following cases, I will consult my supervisor (i.e., the academic staff accepting me as a student or a researcher) and, if necessary, follow the prescribed procedures based on the Foreign Exchange and Foreign Trade Act, related laws, regulations established by the Government of Japan.

In the event I wish to provide research-related technology information during enrollment or employment in a foreign country after withdrawing from or leaving Tokyo Metropolitan University or I wish to provide such information to a nonresident or a resident who is under the significant influence of a nonresident (a person who falls under a “specific category”)	<input type="checkbox"/> I take the prescribed procedures	<input type="checkbox"/> NOT
In the case where I wish to export (sending to foreign countries or bringing out, etc.) devices or materials used in my research or tangible objects gained from the research to foreign countries during enrollment or employment or any as such at Tokyo Metropolitan University or it becomes obvious during this period that I may export the aforesaid items after withdrawing or leaving from Tokyo Metropolitan University.	<input type="checkbox"/> I take the prescribed procedures	<input type="checkbox"/> NOT

2. I will not use the technical information obtained from research for the development, production, use, or storage of weapons of mass destruction (WMD) (nuclear weapons, chemical weapons, biological weapons, WMD delivery systems, such as missiles, and unmanned aerial vehicles), conventional weapons, or materials, components, or products used in these weapons. I will use such technical information only for civil purposes.

I also report the following regarding the Applicability of the Specific Categories.

- fall under the category (1) .
- fall under the category (2) .
- fall under the category (3).
- DO NOT fall under any of the categories.

※ Regarding to the “Specific Categories” , please refer to Page 4 of https://www.meti.go.jp/policy/ampo/law_document/minashi/en_daigaku.pdf.

誓約書

東京都立大学 学長殿

私は、貴学に入学（採用）等の上は、下記事項を遵守することを誓約します。

1 在学（在職）中、無断で大学の所有物の提供及び学外への持ち出しを行いません。次のいずれかに該当する場合には、指導教員（受入教員）に相談するとともに、必要な場合には日本国政府が定める外国為替及び外国貿易法及びこれに基づく関係法令に従い所定の手続を行います。

研究上の技術情報を在学（在職）中または、修了（退職）後に外国において提供し、もしくは非居住者もしくは非居住者の影響を強く受けている居住者（「特定類型」に該当する者）に対して提供しようとする場合	はい <input type="checkbox"/>	いいえ <input type="checkbox"/>
研究上の使用機器、使用材料もしくは研究の結果得られた有体物を在学（在職）中または、修了（退職）後に外国に輸出しようとする場合	はい <input type="checkbox"/>	いいえ <input type="checkbox"/>

2 研究上の技術情報を、大量破壊兵器等（核兵器、化学兵器、生物兵器、ロケット、無人航空機等）、通常兵器又はこれらに使用される材料・部品・製品の開発、製造、使用または貯蔵に用いず、当該技術情報の使用は民生用途に限ります。

また、私は特定類型該当性について、下記のとおり報告します。

- ①に該当します。 ②に該当します。 ③に該当します。
 いずれにも該当しません。

※「特定類型」については、
https://www.meti.go.jp/policy/ampo/law_document/minashi/jp_daigaku.pdf の4頁を参照してください。

年 月 日

氏名 _____

Pledge

Dear President of Tokyo Metropolitan University:

Full name: Taro Tokyo

(Signature) Taro Tokyo

Please sign your name in your own handwriting.

I hereby pledge to comply with the laws, regulations, and policies of Tokyo Metropolitan University regarding my enrollment or employment by Tokyo Metropolitan University.

Check 'Yes' if you comply with the Tokyo Metropolitan Public University Corporation Security Export Control

1. During enrollment or employment at Tokyo Metropolitan University, I will not use the property belonging to the University without permission. In addition, I will not use the property of the University for any purpose other than that for which it was provided. I will follow the instructions of my supervisor (i.e., the academic staff accepting me as a student or a research assistant) and, if necessary, follow the prescribed procedures based on the Foreign Exchange and Foreign Trade Act and other laws, regulations established by the Government of Japan.

In the event I wish to provide research-related technology information during enrollment or employment in a foreign country after withdrawing from or leaving Tokyo Metropolitan University or I wish to provide such information to a nonresident or a resident who is under the significant influence of a nonresident (a person who falls under a “specific category”)	<input checked="" type="checkbox"/> I take the prescribed procedures	<input type="checkbox"/> NOT
In the case where I wish to export (sending to foreign countries or bringing out, etc.) devices or materials used in my research or tangible objects gained from the research to foreign countries during enrollment or employment or any as such at Tokyo Metropolitan University or it becomes obvious during this period that I may export the aforesaid items after withdrawing or leaving from Tokyo Metropolitan University.	<input checked="" type="checkbox"/> I take the prescribed procedures	<input type="checkbox"/> NOT

Please check the items that apply to you.

2. I will not use the technical information obtained from research for the development, production, use, or storage of weapons of mass destruction, chemical weapons, biological weapons, WMD delivery systems, such as unmanned aerial vehicles, conventional weapons, or materials, components, or products used in these systems. I will use such technical information only for civil purposes.

I also report the following regarding the Applicability of the Specific Categories.

- fall under the category (1) .
- fall under the category (2) .
- fall under the category (3).
- DO NOT fall under any of the categories.

※ Regarding to the “Specific Categories” , please refer to Page 4 of https://www.meti.go.jp/policy/ampo/law_document/minashi/en_daigaku_.pdf.

誓約書

東京都立大学 学長殿

私は、貴学に入学（採用）等の上は、下記事項を遵守する

東京都立大学法人安全保障
輸出管理規程を遵守する場
合には、「はい」にチェックを
してください。

1 在学（在職）中、無断で大学の所有物の提供及び学外への提供をしない。次のいずれかに該当する場合には、指導教員（受入教員）の承認を得るとともに、必要な場合には日本国政府が定める外国為替及び外国貿易法及びこれに基づく関係法令に従い所定の手続を行います。

研究上の技術情報を在学（在職）中または、修了（退職）後に外国において提供し、もしくは非居住者もしくは非居住者の影響を強く受けている居住者（「特定類型」に該当する者）に対して提供しようとする場合	はい <input checked="" type="checkbox"/>	いいえ <input type="checkbox"/>
研究上の使用機器、使用材料もしくは研究の結果得られた有体物を在学（在職）中または、修了（退職）後に外国に輸出しようとする場合	はい <input checked="" type="checkbox"/>	いいえ <input type="checkbox"/>

2 研究上の技術情報を、大量破壊物質（生物兵器、ロケット、無人航空機等）、通常兵器又は核兵器・製品の開発、製造、使用または貯蔵に用いず、

自分が当てはまるものにチェックを入れてください。

また、私は特定類型該当性について、下記のとおり報告します。

①に該当します。 ②に該当します。 ③に該当します。
 いずれにも該当しません。

※「特定類型」については、
https://www.meti.go.jp/policy/ampo/law_document/minashi/jp_daigaku.pdf の4頁を参照してください。

自筆でサインをしてください。

20xx年 5月 1日

氏名

東京太郎

日本語版か英語版のどちらか一つを提出してください。
Please submit either the Japanese or English version.

連絡及び問い合わせ先

〒191-0065 東京都日野市旭が丘 6-6
東京都立大学日野キャンパス管理部学務課教務係入試担当
電話番号：042-585-8623（ダイヤルイン）
メールアドレス：admission-sd@jmj.tmu.ac.jp

※東京都立大学ホームページ <https://www.tmu.ac.jp/>

※システムデザイン研究科ホームページ <https://www.sd.tmu.ac.jp/>

2026 年度

東京都立大学大学院システムデザイン研究科
学生募集要項（博士前期課程）〈夏季入試・冬季入試〉

2025 年 4 月発行

編集・発行 東京都公立大学法人
東京都立大学日野キャンパス管理部学務課
〒191-0065 東京都日野市旭が丘 6-6
TEL042-585-8623（ダイヤルイン）